

火山活動と火成岩 (1)

【1】 次の文章は火山についての説明である。() に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

- (1) 地球内部の熱により地下の岩石が溶けてできた高温の液体を (① **マグマ**) という。
- (2) 地下の深いところでできた①は、地下数kmのところに入ったたまる。ここを、(溶岩ドーム・**マグマだまり**) という。
- (3) ①が地上に噴き出す現象を (② **噴火**) という。
- (4) ②によって地上に噴き出されるものには、火山ガス、火山灰、軽石、火山れき、火山弾、溶岩などがあり、これらをまとめて火山 **噴出物**・堆積物) という。
- (5) マグマの粘り気が小さいと、気体成分が抜け出しやすいため (激しい・**穏やかな**) 噴火になりやすく、火山は傾斜の (急・**ゆるやか**) な形になる
- (6) マグマの粘り気が大きいと、気体成分が抜け出しにくいため **激しい**・穏やかな) 噴火になりやすく、火山は (円すい・**ドーム**) 状の形になる。溶岩が火口付近に盛り上がり、(**溶岩ドーム**・マグマだまり) をつくることもある。
- (7) マグマの粘り気が中程度の場合は (**円すい**・ドーム) 状の形の火山になる。

【2】 次の文章のうち、正しいものには○を、そうでないものには×を、() の中に書きなさい。

- (1) 過去一万年の間に噴火したことがある火山や、現在も活発に活動している火山を活火山という。()
- (2) 日本には100以上の活火山がある。()
- (3) 火山灰は、火山噴出物のうち直径 2mm 以下の粒でできたものである。()
- (4) 火山ガスは、マグマに溶けていた気体であり、その成分の90%以上が酸素である。()
- (5) マグマの粘り気の高さによって、火山の形や噴火の様子が変わる。()

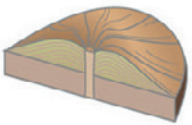
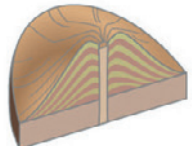
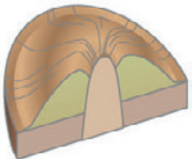
【3】 次の表は火山の特徴について表したものである。

() に当てはまる言葉を書きなさい。

火山の名前は

下の語群から選びなさい。

- しょうわ しんざん 昭和新山、富士山、
- あさまやま 浅間山、マウナロア山、
- うんぜん ふげんだけ 雲仙普賢岳

火山の形	溶岩のねばりけ	噴火のようす	噴出物の色	災害例	火山の例
 傾斜がゆるやかな形	① 小さい (弱い)	③ おだやか	⑤ 黒 つばい	流出 溶岩の	いずおおしま 伊豆大島 ⑦ マウナロア山
 円すい形の火山	中間	中間	中間	降下 火山灰の	⑧ 富士山 さくらじま 桜島 ⑨ 浅間山
 ドーム状の火山	② 大きい (強い)	④ 激しい	⑥ 白 つばい	地面の盛り上がり 火砕流	⑩ 昭和新山 ⑪ 雲仙普賢岳